

症例5：肺がんの脳転移への定位放射線治療3年後、照射部位に肉芽腫と増大する嚢胞が出現し、左下肢麻痺と左下肢感覚障害が進行したため、開頭肉芽腫摘出術を行いました。症状は術後すぐになおりました。このように放射線照射後に、遅発性放射線壊死→進行性神経障害が数年から7~8年後まで生じることがあります。

